

令和4年度 日本民間生薬検定試験問題【上級】(2022年12月4日実施)

受験番号 _____ 氏名 _____

問1 写真で示した植物について解答欄に植物名と科名を記入し、生薬名、薬用部位、適用についてはそれぞれの用語欄から一つ選びその記号を記入しなさい。1点×20



用語欄

生薬名：A 淫羊藿、B 呉茱萸、C 大棗、D 苦参、E 黄蜀葵根、F 蒲黄

薬用部位：A 茎・葉、B 果実、C 塊茎、D 根、E 蕾

適用：A 咳・喉の痛み、B 強壮・強精、C 精神安定、D 苦味健胃・皮膚疾患、
E 抗菌作用・解熱、

解答欄

写真	植物名	科名	生薬名	薬用部位	適用
1	トロロアオイ	アオイ科	E	D	A
2	イカリソウ	メギ科	A	A	B
3	ナツメ	クロウメモドキ科	C	B	C
4	クララ	マメ科	D	D	D

問2 表に示した生薬について、その基原植物名を記入し、科名と適用については最適なものをそれぞれの用語欄から一つ選び記号で答えなさい。2点×5+1点×10

基原植物名	科名	生薬名	適用
カワラヨモギ	B	茵陳蒿 (インチンコウ)	B
スイカズラ	D	忍冬 (ニンドウ)	E
コブシ	C	辛夷 (シンイ)	G
ツリガネニンジン	E	沙参 (シャジン)	A
メハジキ	F	益母草 (ヤクモソウ)	F

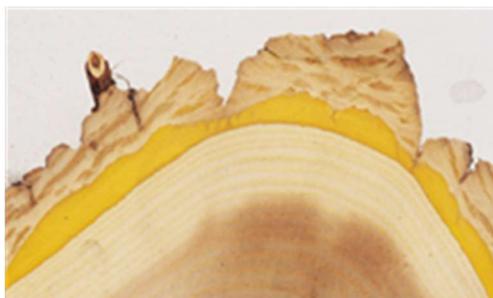
用語欄

科名：A アオイ科、B キク科、C モクレン科、D スイカズラ科、
E キキョウ科、F シソ科、G マメ科

適用：A 鎮咳去痰・強壮、B 利胆、C 痛風、D 苦味健胃・皮膚疾患、
E 抗菌・解熱、F 産後貧血・婦人病、G 鼻炎・蓄膿症

問3 次の図を見て、下記の文の（ ）内に適語を記入しなさい。ただしア～オには用語欄から適語を一つ選び記号を記入しなさい。2点×10

右図は(キハダ)の幹の横断面(一部)である。この植物は(ミカン科)に属し、(羽状)複葉の葉をもつ。薬用部位は「(ア C)を除いた(イ B)」で、これから調製した生薬を(黄柏)と呼び、この薬用部位を採取する、いわゆる「皮はぎ」作業は一年の内でも(ウ G)頃に限られる。本生薬は味が(エ K)、黄色を帯びている。重要な成分としてアルカロイドの(ベルベリン)を含み、(オ P)などに適用され、漢方薬や伝統薬にも配合されている。



用語欄 (用語は便宜上、内容別に【 】で分けしている)

【A 表皮、B 樹皮、C 周皮、D 内皮】

【E 1-2月、F 4-5月、G 6-7月、H 9-10月】

【I 辛く、J 甘く、K 苦く、L 渋く】

【M 鎮咳去痰・強壯、N 高血圧症、O 痛風、P 苦味健胃、Q 産後貧血・婦人薬、R 利胆】

問4 次の文は実習で行った確認試験の内容を記したものである。[A]にはその方法で確認する成分や細胞について、[B]には対象とした植物について用語欄から一つ選び記入しなさい。2点×10

- ・粉末に水を加え、激しくふり混ぜて起泡性を確認した。[A サポニン] [B キキョウ]
- ・粉末に水を加え、ヌルヌル感を確認した。 [A 粘液細胞] [B キハダ]
- ・試料にアルコールを加え、上澄みに塩酸とマグネシウムを加えて呈色を確認した。
[A フラボノイド] [B エンジュ]
- ・顕微鏡を用い、硬く肥厚した細胞を確認した。[A 石細胞] [B ナシ]
- ・顕微鏡を用い、単晶を確認した。[A シュウ酸カルシウム] [B ネギ]

用語欄

シュウ酸カルシウム、サポニン、デンプン、フラボノイド、石細胞、柔細胞、粘液細胞；ネギ、キハダ、ナシ、オウレン、エンジュ、ジャガイモ、キキョウ